

<福岡県の環境について>

【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン（第四次福岡県環境総合基本計画）」（※1）では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴きし、今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

県の環境施策のマスタープランである環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

（環境部 環境政策課）

※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、すべての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは下記を御覧ください。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っています。6月が環境月間であることを知っていますか。

（N=356 選択は1つのみ）

知らない	79.8%	（284名）
知っている	20.2%	（72名）

無回答 0.0% （0名）

〈2〉 あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(N=356 複数回答可 回答件数=1,478)

ごみが正しく管理・処理されていること	45.5%	(162名)
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	44.7%	(159名)
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	41.6%	(148名)
水が汚染されていないこと	40.2%	(143名)
住まいの周りが静穏であること	38.5%	(137名)
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	36.2%	(129名)
環境に負荷をかけず、安全・安心に、リサイクルが行われていること	31.5%	(112名)
空気や空が汚染されていないこと	23.0%	(82名)
環境関連の技術や産業(※2)が向上・発展していること	16.9%	(60名)
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	14.9%	(53名)
家庭や会社で、環境配慮型製品(※3)が選べること	14.3%	(51名)
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	14.0%	(50名)
様々な産業において、環境に配慮した取組(※4)が行われていること	12.6%	(45名)
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	11.8%	(42名)
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	11.8%	(42名)
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	10.1%	(36名)
環境について満足しているところはない	5.6%	(20名)
その他	2.0%	(7名)

無回答 0.0% (0名)

※2 環境関連産業とは

リサイクル関連産業だけではなく、太陽光発電等の自然エネルギー関連産業などの環境負荷の低減や環境保全につながる様々な産業のこと。

※3 環境配慮型製品とは

環境負荷の低減を考慮した物品等。エコマークやグリーンマーク、再生紙使用マークのような環境ラベルが目印。

※4 様々な産業における環境に配慮した取組とは

様々な産業が行う事業活動の中で、環境負荷を低減するための取組。例えば、減農薬・減化学肥料栽培などの環境に配慮した農業や生態系に配慮した資源管理型漁業など。

〔その他(抜粋)〕

- ・ ソーラーパネルは設置場所により、効果的な場合と逆効果である場合があると思う。
- ・ ごみの区分がもっと多く細分化されたほうが良いと考える。
- ・ プラスチックごみを購入先で引き取ってほしい。
- ・ 空気や空が汚染されていないわけがない。意識的に PM2.5 の影響を無視しているのか。雪が降らないし、降水量も少ない地域で水がおいしいわけがない。
- ・ 生活環境騒音についてもより真剣に取り組んでほしい。週末の工事や野球騒音、スポーツ大会の大音量の放送も近隣住民にもう少し配慮して欲しい。

〈3〉 あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(N=356 複数回答可 回答件数=1,272)

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	46.9%	(167名)
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	44.9%	(160名)
ごみが正しく管理・処理されていること	38.2%	(136名)
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	23.9%	(85名)
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	23.3%	(83名)
環境に負荷をかけず、安全・安心に、リサイクルが行われていること	23.0%	(82名)
水が汚染されていないこと	21.9%	(78名)
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	21.3%	(76名)
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	18.5%	(66名)
空気や空が汚染されていないこと	14.6%	(52名)
住まいの周りが静穏であること	13.2%	(47名)
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	12.1%	(43名)
10年前とは違う地域に住んでいるのでわからない	12.1%	(43名)
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	11.8%	(42名)
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	8.7%	(31名)
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	7.6%	(27名)
環境について良くなったと感じるところはない	6.7%	(24名)
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	6.5%	(23名)
その他	2.0%	(7名)

無回答 0.0% (0名)

〔その他(抜粋)〕

- ・ 再生可能エネルギーなどは、電力会社が電力の買い取りを抑制して、原子力発電を守ろうとしている。福岡県は、指導すべきである。
- ・ ソーラーパネルは設置場所による。
- ・ 周囲の田畑はすべて住宅地に代わってしまった。年々気温が上昇し、災害が起こっており、緑化が進んでいるともいえないため、環境がよくなったとは思えない。
- ・ パソコンや携帯電話の回収など、都市鉱山の回収に力を入れていると感じる。
- ・ 良くなったところなど何もない。PM2.5をはじめ取り巻く環境が悪化していることをなぜ無視するのか。
- ・ 自動車の排出ガスによる苦痛が減った気がします。
- ・ 暴走族の騒音が聞かれなくなった。

〈4〉 あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満足と感じるのはどのようなところですか。

(N=356 選択は4つまで 回答件数=942)

空気や空が汚染されていること	40.4%	(144名)
モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	38.8%	(138名)
ごみが正しく管理・処理されていないこと	21.1%	(75名)
水が汚染されていること	18.0%	(64名)
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	16.0%	(57名)
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	15.7%	(56名)
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	14.9%	(53名)
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	14.3%	(51名)
環境に負荷をかけず、安全・安心にリサイクルが行われていないこと	13.5%	(48名)
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	13.2%	(47名)
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	12.4%	(44名)
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	9.0%	(32名)
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	8.1%	(29名)
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	8.1%	(29名)
環境について、不安や不満足と感じるところはない	8.1%	(29名)
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと	4.8%	(17名)
その他	4.5%	(16名)
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	3.7%	(13名)

無回答 0.0% (0名)

[その他(抜粋)]

- ・ 福岡県の取り組みとその結果がもっと簡単に目に留まるようにして欲しい。
- ・ ヒートアイランド予防などの面から都心部で緑化を進める必要があると感じる。
- ・ 地域のゴミ屋敷対策や、地域の自治体のゴミ拾い活動などがだんだん少なくなっている気がする。
- ・ ゴミステーションについて各地域で差があり、一定の基準が無いと思う。簡易ネットによる、カラス等からのゴミ散乱被害がおきていると感じている。
- ・ 以前に住んでいた自治体では、ごみ分別がもっと細かくされていました。資源リサイクルとしては福岡県はまだまだだと感じております。
- ・ 元々「自然」(人の手による「開発」が行なわれていない土地)だった場所を「開発」して太陽光発電が行なわれていること。太陽光発電は、既に「開発」された建物(住宅・工場・商業施設・ビル等)の屋根上や道路・線路の土手など、「人工物のある場所」に設置し、そして設置者自らが使用する電力を賄うために用いるのが好ましい。
- ・ 太陽光パネルの設置のため山の木々が倒されて崩され自然が壊されています。太陽光は自然エネルギーと言っていますが限られた自然を壊してまでも作らなければならないものなのでしょうか？
- ・ 近所の水路は底がコンクリートではなかったため、アメンボ・小魚・ザリガニが生息しており、子供たちがはしゃぐ姿がよく見かけられ、地域住民が定期的な清掃を行っていましたが、水路前の住民が行政にコンクリート工事を申し立て、近所住民の反対にもかかわらず、数日で工事が遂行されました。一部の意見で環境が壊されることに不安と行政への憤りを感じます。
- ・ 地理的に近い影響もあるが、中国大陸からの大気汚染物質 PM2.5 が飛来してくるため、小さい子供への影響(将来性含めて)が懸念される。
- ・ 山中に枯葉剤が廃棄されるなどしているようだが、ダムや水道への影響が懸念される。
- ・ ヨーロッパ諸国では禁止されている除草剤が、日本では売られている。農業県だけに、特に子ども達への影響が気になる。
- ・ 大型運搬車が朝・昼・夕・深夜に数十台毎日通過するので騒音と排気ガスがひどい。
- ・ 原発が老朽化していく中で、海洋や大気に自然放出していく物質に対する不安も多少はある。地震などへの影響も心配である。
- ・ 原発事故で放射能が漏れないかと心配。
- ・ 環境に良い物を選びたいが、コスト的に高い。
- ・ 日々の暮らしで実践できる環境活動について、教育が進んでいないこと。
- ・ 太陽光発電の売電を消費者が負担すること。
- ・ 太陽光発電などの電力が送配電の関係で使えない状況が不満。「原発ありき」の政策転換が必要。
- ・ 環境問題と言えるかは分かりませんが、野良猫に悩まされています。

<5> 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見

<全体>

- ・ 県の取り組みとプロセス、その結果はどうか、市町村行政、自治会などに展開し一般県民に伝えてほしい。力を入れていること、他より優れている点、劣っている点、協力して欲しい点など。

- ・ 豊かな自然と、人が手を加えて守られ続ける里山と、西の玄関口としても栄える福岡県。この均衡がとれているから、食べ物も美味しいし、ビジネスも広がるし、人も寄り付く。目先の利益にとらわれず、なん 10 年、いや、100 年先を見据えた政策を是非してほしい。子どもに優しい環境づくりこそ、結果、全ての人に優しい環境になるのではないか。子育てしやすい環境であれば、将来、若者が出て行かなくて済む街になる。
- ・ 環境活動については地域差(自治体差)があるように感じる。個人的には環境保全派なので個人でできる取り組みにおいては頑張っているが、自治体としてのやる気が全く感じられないと思う。形式だけの取り組みも多い。しかし、そこに力を入れようと予算や何やを省くと何故か文句を言い始める住民の比率も多いので。もうそれ地域差の民度としか言いようがない。環境保全に積極的な自治体が羨ましい。
- ・ 以前と現在の比較できるものがない為、正直よくわかりません。自分がしているエコ活動が効いているのかわからないので、エコしなくても問題ないと、疎かになる時もあります。効果を感じることができれば、もっといいのにとおもいます。

<低炭素社会>

- ・ 環境負荷がかかりにくく、災害時でもライフラインに影響が少なくできるようなエネルギー政策を先導してほしい。
- ・ 地球環境を守る観点から、太陽光、風力、地熱などの再生可能エネルギーの更なる活用を推進していただきたい。
- ・ 太陽光パネルなどの代替エネルギーは問題もあるようで推進するのは疑問に思う。
- ・ 再生可能エネルギーについてもっと真剣に取り組んでほしい。
- ・ 再生可能エネルギーの活用はもっとできると思うので、県でも力を入れてほしいです。
- ・ マンションの屋上や空いている土地などを利用すればもっと太陽光を利用したり省エネにつながると思う。福岡県でももっと取り組みを奨励すればもっと企業が動くのではないかと思う。個人ではなかなか難しく、勿体無いと思うことが多い。
- ・ 各家庭内で、災害に備えてソーラー発電及び充電器の配備をする場合補助金があればよい。
- ・ 道路造りや乗り物の相互乗り入れの計画性がないような気がする。もう少し、公共交通機関と行政機関がどこのエリアでも通いやすくすることで、むだに自家用車を使わずにすむ。結果、排気ガスや道路渋滞も軽減されるのではないか。
- ・ 環境に優しいのに自転車には優しくない環境。バスばかり走る道路が気になります。
- ・ 交通分野におけるエネルギー使用適正化のために、鉄軌道への積極的な投資(区間によっては路線新設・廃線未成線復活)も必要では。日田彦山線への復旧や運行への投資も。

<循環型社会>

- ・ タバコや空き缶のポイ捨て、公道の街路樹、中央分離帯などでよく見かけます。第一に道徳的観念の問題ですが、ポイ捨てしようにもできない仕組み作りというものが環境的取り組みからできないものかと思えます。
- ・ 不法投棄が減らない。粗大ごみの出し方が面倒な事も一因ではないか?LINE での申し込みが出来たらと思う。
- ・ 住んでいる地域によって、ゴミの分別方法が違ったり、ゴミ袋の値段が違ったりするので、統一されると県内のエコ意識が高まるのではないかと思いました。
- ・ 外国人のごみの出し方に対して何の対策も講じてないこと。
- ・ 近年ストローのゴミが問題になって、大手が動いて廃止の傾向にあるが、結局は大手資本の企業が動かないと何も変わらない。ペットボトルのリサイクルも大きな資本の製造企業に求めたい。昔は瓶で自販機に置いてあった。復活して頂きたい。

- ・ ペットボトル等はむやみにリサイクルするよりも焼却場で燃やし、その際発生する「熱エネルギー」を用いた発電をする方法・考え方も「エコ」なのでは？
- ・ リサイクルプラザの活用や促進の PR をもっと行って良いと思います。古着、家具、電化製品のリサイクル推進をお願いいたします。

<自然共生社会>

- ・ 街路樹など街中に木が少ないと思う。
- ・ 森林を伐採した山や休耕地などに設置された太陽光発電システムは景観や災害において大変危険です。先日の豪雨災害においても伐採された山の斜面から大量の土砂が流れ住民が避難しました。再生可能エネルギーのあり方を考えるべきです。
- ・ 山を放置する人が増えて来たから山に餌がなくなり、イノシシやタヌキ・サルが町へ降りてくるようになったと思う。具体的にどうしたらいいのかわかりませんが、山を管理できる人が居たらいいと思います。
- ・ 登山の自然遊歩道に於いて、標識（草木花の解説、分岐点の行先表示等）を更に整備して欲しい。
- ・ 10年前と比べると、山や川は人の利便性を優先するために自然の姿からは変わってきていると思う。

<健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 中国からくる黄砂がひどすぎる。
- ・ 大気汚染は中国から偏西風で流れてくるので、県の取り組みだけでは無理だと思う。次世代の自動車の普及で少し改善されると思う。
- ・ 福岡は中国が近いため、PM2.5 や黄砂が気になる。気管支が弱い親が二度と来たくないと欲していた。自国で対応するのは難しいかもしれないが、何か出来ることはないのかなあと思う。
- ・ 黄砂はしょうがないけれど、中国大陸から流れてくる PM2.5 の空気汚染をどうにかして欲しいです。
- ・ 九州全体に言えることなので福岡県だけとは言えませんが、ユーラシア大陸に近いため、東京都心よりも PM2.5 などの影響が高く、大気汚染がひどい。空気の悪い事が移住の妨げになっている事を耳にします。環境問題により取り組んでいただきたいです。
- ・ 近くに工場が、20年前ぐらいからありますが、煙突から、製造過程の灰が出て周囲の住宅地まで飛んできます。以前は市への苦情も地域から行いましたが、改善が図られていません。
- ・ 道路の整備、排気ガス規制
- ・ 騒音公害。住宅地における地域野球チームのマナーが悪すぎる。地域住民の理解が得られないままに騒がれ非常に迷惑。都市化や働く人口が増えている、コンパクトシティの環境の中、今まで通りの騒ぎを住宅地でされると非常に困る。行政の公園運営の方法を真剣に考えて欲しい。
- ・ 新幹線が家の近くを通っているが、ベランダにかなりチリが積もってしまう。乳児、幼児がいるため、これが健康被害等に繋がらないか不安。公園の噴水や池の水の色が汚く、泡立つし臭う。公園に水場がなくて子供が気軽に水遊びできないのが不満。公園の草刈りがされておらず気軽に連れて行けないが、どこにお願いすれば良いかわからない。
- ・ 奇形のオタマジャクシが発見され、一時期水質の化学的汚染が問題視されたことがあったが、特に立ち入って解明されることもなく、曖昧なまま沙汰やみになった。対策の話も聞いたことがない。生命に直接関係することでもあるので経緯を明確にし、必要な対策も進めてほしい。

- ・ 川の近くに住んでいるが、通るたびに川の汚染が気になる。
- ・ 浄化処理が出来ていない地区（田舎）などは海や川に汚水を流しています。クリーニング屋など使っている水なども垂れ流しの地区もあります。苦言を呈してもなおっているようには思えません。特に閉鎖的な田舎に行くにつれ汚水などの問題は口を噤んでいるようにも思えます。
- ・ 製品に含有する有害化学物質が解明され公表、排除の取り組み、規制が強化されること。

<地域づくり・人づくり>

- ・ 隣近所で環境整備（溝掃除、道路の清掃等）を行い、環境の向上を実施している。
- ・ リサイクルとか環境に関する情報がもっと身近にほしいです。
- ・ 意識が高い人とそうではない人の差が大きくあるように感じます。私もその中の1人ですが1人でも多く身近に感じることができるようになってほしいです。
- ・ 福岡市周辺は、人口減少が叫ばれている日本の中でも人口が増え続けている。いいことにも見えるが、不必要に開発されていていっているようにも見える。また、都心部に人口が集まる分、田舎は田畑や里山は人の手が入らず荒廃が進んでいるように思う。人口集中や田舎の再生についても同時に考えていく必要があるのではないか。
- ・ 環境資源の循環型を形成し、県主導、自治体主導ではなく、県民、市民がボランティアで活動できる取り組みがいいと思う。官民一体が必要だ。その為には、教育が重要で、子供の頃の体験を通じて体感させることが一番だと思う。教育の一環としてリーダーの育成をして欲しい。道徳とともに共通している環境教育を設けることが大切だ。
- ・ 自然保護や環境改善への取り組みを広く県民に知って貰うような、イベントや参加型のツアーを多く企画して欲しい。
- ・ 環境への発信の取り組みがもっとあっても良い。新聞や公開セミナーなどです。エコフェアで福岡県は水素自動車しかなかったような気がします。
- ・ 県民がやる気になる（メリットや実益がある）広報啓発や企画キャンペーン（エコトン等）の実施。

<その他>

- ・ 佐賀の玄海原子力発電所に対する懸念が曖昧と思う。
- ・ 原子力発電所から出る放射性廃棄物の処理の問題が気になります。原子力発電所は本当に必要なのか、とても疑問に感じます。
- ・ 原発の放射性廃棄物を県庁を含む各市町村役場の地下で長期保管すると発表して、県民の環境意識を高めたらどうか（原発の放射性廃棄物はどこにも保管してもらえないのに増え続けている）。
- ・ この度発生した北海道地震でブラックアウトになり、電気の供給がストップしました。福岡でも地震につながる断層があるので大規模地震時に電気がストップするのではと心配になりました。その際、太陽光で賄えるほどの電力はあるのかと心配です。
- ・ 近所に2つ公園があるが、1つはきちんと整備されみんなの憩いの場になっており、もう1つは草ぼうぼうで全く使われていない。年に何度か草刈りに市の委託業者が来るだけなのでホームレスが住み着いていて怖くて誰も近寄らない。夜も暗い。どうせならもう更地にして住宅や店舗用として市が売却して欲しい。いつか事件が起きそうで怖い。

〈6〉 満足・不満足に関する回答の経年変化^{注)}

・低炭素社会の推進

「再生可能エネルギーが活用されていること」は、満足度が比較的高くなっておりませんが、「省エネルギーの取組」の満足度は平成 25 年度より低下しています。

・循環型社会の推進

「資源が無駄遣いされていないこと」に対する満足度は、昨年度と比較し、大きく上がっており、いずれの項目も満足度が比較的高くなっており。一方、「資源が無駄遣いされていること」に対する不満足度も高い傾向にあります。

・自然共生社会の推進

「身近な自然と触れ合える」の項目は、満足度が比較的高くなっており。一方、「豊かな自然を将来に引き継いでいくために必要な取組」や「社会経済活動」についての満足度は、10%台に止まっており。

・健康で快適に暮らせる生活環境の形成

「水の汚染」や「住まいの周りの静穏」の項目は、満足度が比較的高くなっています。一方、「空気や空の汚染」の状況については、満足度が低く、不満足度が高くなっています。

・経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進

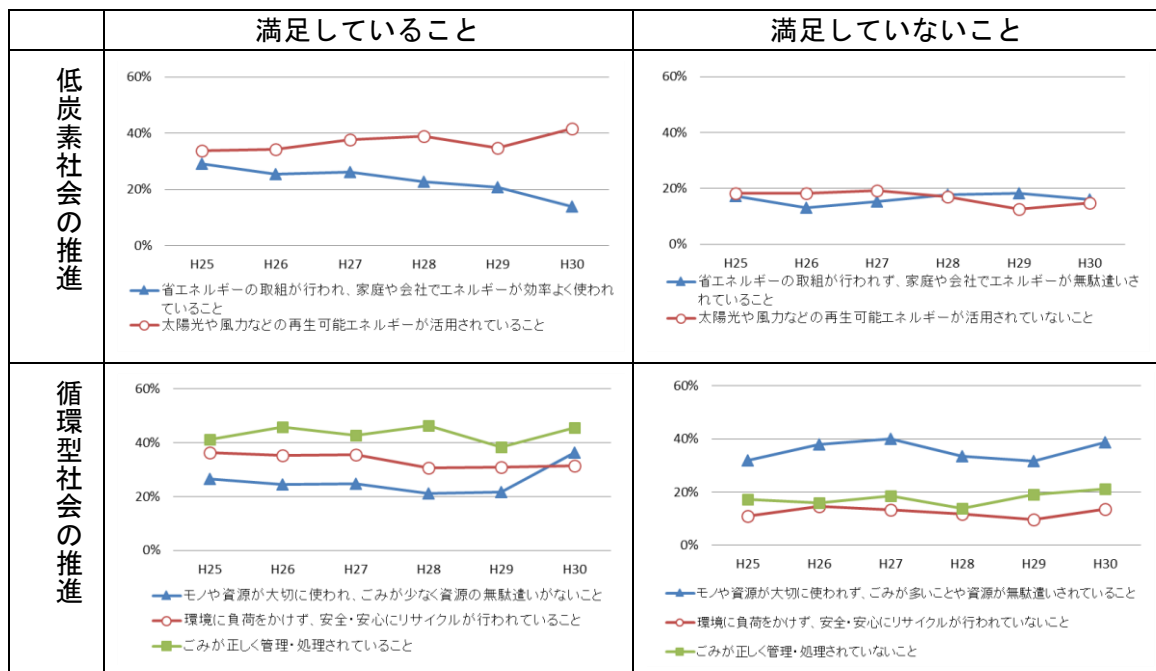
満足度及び不満足度は低い数値で推移しております。

・持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

いずれの項目も、満足度及び不満足度は低い数値で推移しております。

これらの結果に関して、取組が進んでいるにも関わらず、本調査では満足が得られていない項目があります（省エネ、リサイクルや空気や空の項目）。これらについては、正しい情報が県民に届いていない可能性があります。今後、県民への情報提供や普及啓発に取り組んでいく必要があります。

注) 県政モニターのグラフは、平成 25 年度～30 年度の推移を表しています。なお、登録していただいているモニターは毎年度変わっています。



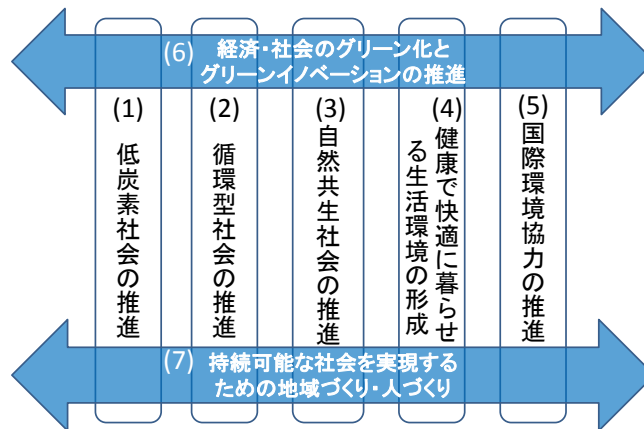
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自然共生社会の推進</p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること </p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと </p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">健康で快適に暮らせる生活環境の形成</p>	<p> ▲ 空気や空が汚染されていないこと ○ 水が汚染されていないこと ■ 住まいの周りが静穏であること </p>	<p> ▲ 空気や空が汚染されていること ○ 水が汚染されていること ■ 住まいの周りの静かさが保たれていないこと </p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進</p>	<p> ▲ 環境関連の技術や産業が向上・発展していること </p>	<p> ▲ 環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと </p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり</p>	<p> ▲ 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること </p>	<p> ▲ 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと </p>

「福岡県環境総合ビジョン（第四次福岡県環境総合基本計画）」
（計画期間：平成30年度～34年度）

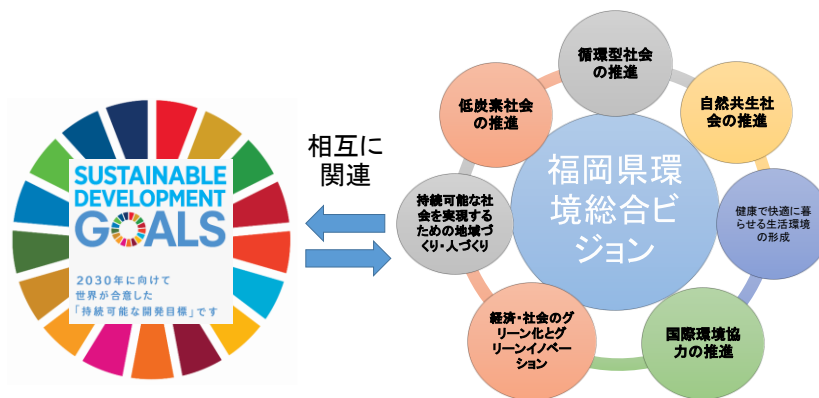
『豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県』
～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～

福岡県は平成30年3月に新たな環境総合ビジョンの策定を行いました。その環境総合ビジョンでは、7つの柱を設定し、柱ごとに目指す姿を示しています。なお、7つの柱は相互に関連しており、全体として持続可能な社会を目指すものです。

7つの柱のイメージ



また、環境総合ビジョンは、環境・経済・社会の3つの側面を調和させつつ、世界を持続的な発展に導くための開発目標であるSDGsの考え方を活用し、分野横断的に課題に取り組むことにより、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指します。



（問い合わせ）環境部 環境政策課
TEL：092-643-3355
E-Mail：kansei@pref.fukuoka.lg.jp